待野ファミリーの気になる『市町村合併』

由愛ちゃんが得意のインターネットで、市町村の行財政運営をシミュレーションしようとしたとき、市役所に勤めているご近所の寺本さんが回覧版を届けにきました。

待野（まちの） 由愛（ゆめ）(17)

高校２年生。趣味は、音楽鑑賞と読書。インターネットでの情報収集が得意。

寺本（てらもと） さん(47)

市職員。現在、市町村合併を担当し、合併についての調査研究をしている。

待野（まちの） タマ(5)

待野家のペット。ファミリーの談話にピリッと辛口なコメントをします。

合併後に財政は好転する!? まちの財政運営をシミュレーション

http://www.hit-north.or.jp/zaisei/

寺本　こんにちは、回覧版を持ってきました。

由愛　こんにちは。あっ、丁度よかったわ。寺本さんって、いま市役所で市町村合併を担当してるのよね？

寺本　そうだけど。

由愛　今から先月広報誌に載ってた『行財政のシミュレーション』をしようと思ってたの。よかったらいろいろ教えて欲しいんだけど…

寺本　ああ、いいよ。

由愛　ありがとう！

寺本　それじゃあ、「市町村行財政シミュレーション」のホームページを開いてごらん。

由愛　（カタカタ…）開いたわ。このホームページでは、何が分かるんですか？

寺本　このホームページは、「将来のまちの行財政をシミュレーションしながらまちの未来を考え、地域の実情にあったまちづくりを進める手助けにして欲しい」と、北海道、北海道市長会、北海道町村会の3者が共同で作ったものなんだ。

ここでは、全道市町村の

①道内市町村の特徴
②市町村プロフィール
③推計人口
④行政コストの比較
⑤行政サービスにかかる料金
⑥財政推計

が分かるんだよ。

由愛　詳しく分かりそう。

寺本　そのほかに、市町村合併に関する素朴な疑問をQ&Aで紹介してあるから便利だよ。

由愛　早速、『道内市町村の特徴』のページから見てみよ。

寺本　じゃあ、ボクがそれぞれのページのポイントを説明するね。

【人口】

北海道の人口は、平成7年国勢調査から減ってきているんだ。それに高齢化率は全国を上回っているんだよ。

【道内市町村の財政状況】

北海道は、全国に比べて市町村税の収入が少ないね。

それを補うための地方交付税が多いんだ。北海道の町村は、特にこの地方交付税が多くて、収入の約4割がこれにあたるんだよ。

【行政コスト】

人口十万人以上、面積100㎢～200㎢のまちが最も安いコストで行政運営ができると書いてあるね。ちなみに留萌市は、人口28、325人、面積が297・3㎢だから…、どっちにも該当しないね。

寺本　ここから先はホームページからソフトをダウンロードしないと見られないんだ。トップページ下段の『次のページへ』をクリックして、開いたページの下段にある『ダウンロード』をクリックすればOKだ。

由愛　ソフトを開いたわ。

寺本　このソフトは、道内212市町村から、自分の好きな市町村を選んでシミュレーションできるんだ。

由愛　それじゃあ、北海道が示した合併パターンの「留萌、増毛、小平」を選んでみようかな。

寺本　「市町村選択」で選ぶんだ。さあ、いよいよデータを見ることができるよ。

【市町村プロフィール】

人口、面積、財政、公共施設の整備状況など、現在の状況や合併後の状況のほかに、合併後の人口規模とほぼ同じ市町村を比較できるようにしているんだ。

広報誌（平成14年2月号）でも紹介したことがあるけれど、それよりきめ細やかな情報を知ることができるよ。

【推計人口】

平成12年度国勢調査の人口を100としたとき、H32年度までの人口減少率が高い順は、「増毛町→小平町→留萌市」となっているね。

【財政推計】

ここでは、財政収支の累積額と基金（預金）残額の推移についてのデータが出ているんだ。

3市町とも、単独で行政運営をした場合、財政状況は悪化して行き、好転する見込みが立たない状況となっているね。でも合併した場合はその逆で、一時的に赤字が増えるものの、将来的には黒字になるとでているんだ。

由愛　一通り見てみたけれど、どこまで信用していいのかしら…

寺本　じつはこのシミュレーションでは、個々の市町村における特別な事情は見込まれていないんだ。

例えば、税収が伸びる見込みや、大型プロジェクトを実施する予定のある市町村の場合は、このシミュレーションの将来推計と変わる可能性があるね。

由愛　そうなんですか？

寺本　あと、国では今、地方交付税や国庫補助金のあり方などについて検討しているけど、このシミュレーションでは現在の制度が将来まで続くと仮定しているから、その辺も注意が必要だね。

由愛　もっと正確なデータって、ないんですか？

寺本　全道212市町村の将来推計を行うためには、この辺が限界なのかも知れないね。

それぞれの市町村が将来の行財政運営の効率化を行っていく一つの目安としていけばいいんじゃないかな。もちろん市民の皆さんにも全道市町村の状況を知るための材料にしてもらえばいいと思うよ。

由愛　分かりました。あとはここにあるデータをもとにして自分なりのシミュレーションをしてみるわ。

＜１人当たりの行政コスト＞

市町村名		金額	合併市町村との行政コストの差
合併市町村	■	545	－
留萌市	●	560	15
増毛町	○	1,148	603
小平町	▲	1,425	880

【行政コストの比較】

1人当たりのコストは、人口規模が大きくなれば減少すると言われている。確かにグラフ1を見ると、合併後のほうが現在よりコストは減っているけれど、留萌市はあまり変わらないみたいだね。

【行政サービスにかかる料金】

ここで紹介しているのは、市民の生活に直結しているサービスの料金のうち「水道料金、下水道料金、国民健康保険税、介護保険料」のこと。

合併後の各料金を仮に3市町の最低額に統一した場合は全ての料金が安くなり、平均額に統一した場合には介護保険料以外は料金が高くなるという結果がでているんだ。

タマのひとり言

このシミュレーションは、あくまでも一つの目安なんだニャー。

市町村税には、人口増減に影響される「個人所得」や、影響を受けない「固定資産税」が含まれているしニャ。

お年寄りの割合が増えれば、福祉保健の対象者がふえるから、いちがいに人口増減では何ともいえないのかもしれないニャー。

まちの将来を考えるのって、とっても大変なことなのかもしれないニャ。

タマも、もっといろんな情報をしいれて、自分の住むまちの将来のこと考えてみよかニャ。

－ シリーズ －

みんなで考えなくちゃ！
～これからのるもいのこと～